

令和7年度 介護支援専門員実態調査アンケート結果

1. 目的

幡多地域では介護支援専門員が不足する状況が続いていたことから、令和元年度に高知県介護支援専門員連絡協議会幡多ブロックと協働で介護支援専門員（居宅系）（以下、ケアマネという）の方を対象とした実態調査を実施した。

調査結果を受けて、介護支援専門員更新研修の受講環境の改善や研修受講費の補助、ケアマネ同士の情報共有の場としてのケアマネカフェの開催といった対策を取ってきたが、ケアマネが不足している現状は継続している。

また、ケアマネージャーの法定外業務（シャドーワーク）の負担といった新たな課題への対応について国において検討されはじめています。

前回調査から6年が経過していることから、改めてケアマネの実態を把握し、これまでの取り組みの評価を行うとともに、現状分析と課題整理を行いケアマネを取り巻く課題の解決に向けた検討をするため実施した。

2. 調査の概要

調査名： 介護支援専門員実態調査アンケート

調査方法： アンケート調査（無記名）

・所属する事業所に調査票を送付し、事業主より個別にアンケートを配布し各自回答

・回答したアンケート用紙を封入し事業主が回収、事業主ごとに郵送で返送、または、電子申請サービスにより回答

調査期間： 令和7年9月1日～10月31日

対象者： 幡多管内の居宅介護支援事業所及び地域包括支援センターに所属する介護支援専門員

3. 回収状況

対象者数： 84名

回答者数： 78名

回収率： 92.9%

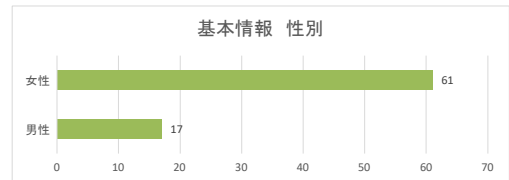
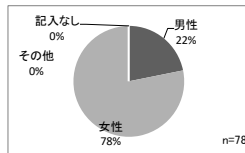
事業所数： 31（うち地域包括支援センター6）

4. 結果

基本情報

(1) 性別

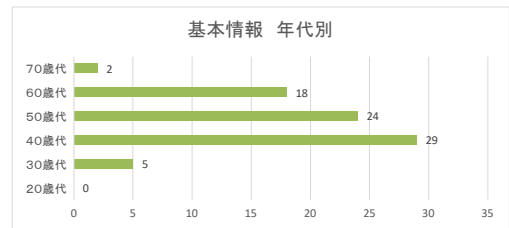
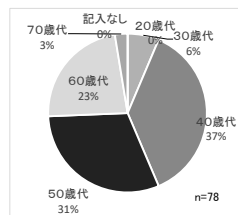
1) 男性	17
2) 女性	61
3) その他	0
記入なし	0
合計	78



女性が約8割を占めている。

(2) 年齢層

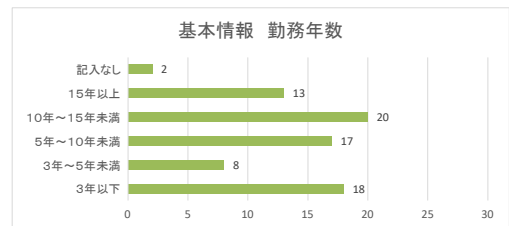
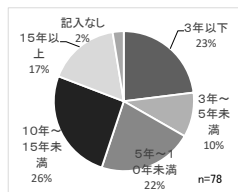
1) 20歳代	0
2) 30歳代	5
3) 40歳代	29
4) 50歳代	24
5) 60歳代	18
6) 70歳代	2
記入なし	0
合計	78



40、50歳代の占める割合が約7割となっている。30歳代が6%と少なく、60、70歳代が26%と高齢化の状況が見られる。

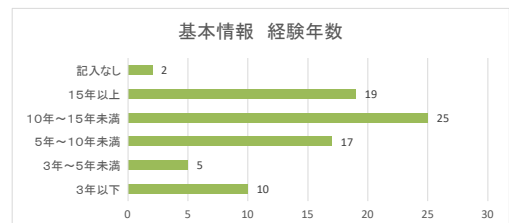
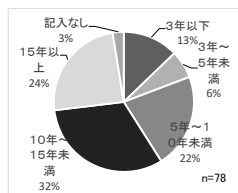
(3) 現所属での勤務年数

1) 3年以下	18
2) 3年～5年未満	8
3) 5年～10年未満	17
4) 10年～15年未満	20
5) 15年以上	13
記入なし	2
合計	78



(4) 通算での経験年数

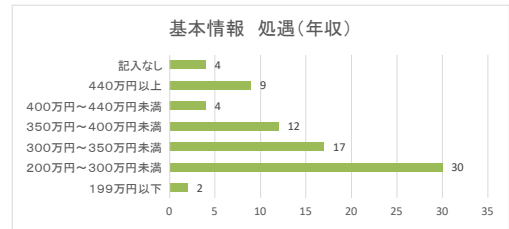
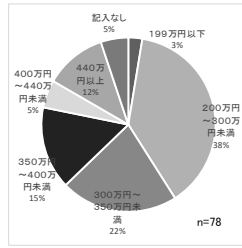
1) 3年以下	10
2) 3年～5年未満	5
3) 5年～10年未満	17
4) 10年～15年未満	25
5) 15年以上	19
記入なし	2
合計	78



経験年数10年以上の方が半数以上。経験年数3年以下の方が10名に対して、現所属での勤務年数3年以下の方が18名とここ数年で勤務先が変わったと思われる方が一定数いる。

(5) 処遇(年収)

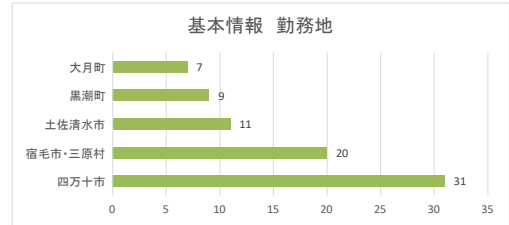
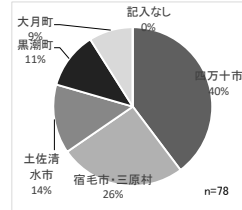
1) 199万円以下	2
2) 200万円～300万円未満	30
3) 300万円～350万円未満	17
4) 350万円～400万円未満	12
5) 400万円～440万円未満	4
6) 440万円以上	9
記入なし	4
合計	78



年収300万円未満の方が約4割を占めている。440万円以上の年収の方は1割程度となっている。
令和6年度介護従事者処遇状況等調査(厚生労働省)によると、令和6年9月現在の介護支援専門員の平均給与額は375,410円(年収4,504,920円)となっており、全国平均より低い。

(6) 現在の勤務地

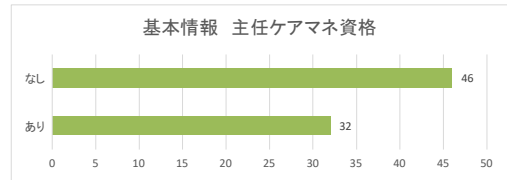
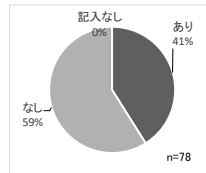
1) 四万十市	31
2) 宿毛市・三原村	20
3) 土佐清水市	11
4) 黒潮町	9
5) 大月町	7
記入なし	0
合計	78



人口に比例して、四万十市が最も多くなっている。

(7) 主任介護支援専門員の資格

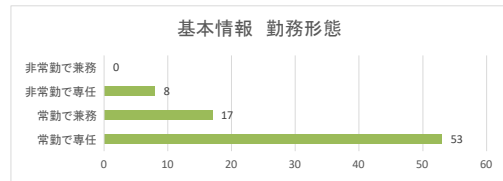
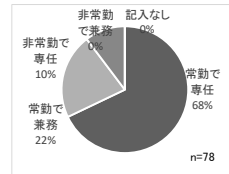
1) あり	32
2) なし	46
記入なし	0
合計	78



主任介護支援専門員の資格を持っている方は4割となっている。

(8) 勤務形態

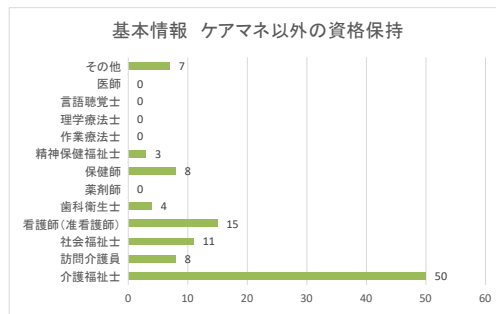
1) 常勤で専任	53
2) 常勤で兼務	17
3) 非常勤で専任	8
4) 非常勤で兼務	0
記入なし	0
合計	78



常勤で専任の方が約7割と多く、次いで常勤で兼務となっており、9割の方が常勤で勤務している。

(9) 介護支援専門員以外の保健医療福祉関係の資格

1) 介護福祉士	50
2) 訪問介護員	8
3) 社会福祉士	11
4) 看護師(准看護師)	15
5) 歯科衛生士	4
6) 薬剤師	0
7) 保健師	8
8) 精神保健福祉士	3
9) 作業療法士	0
10) 理学療法士	0
11) 言語聴覚士	0
12) 医師	0
13) その他	7
記入なし	0
合計	106



※同一者が複数資格を持っている場合あり

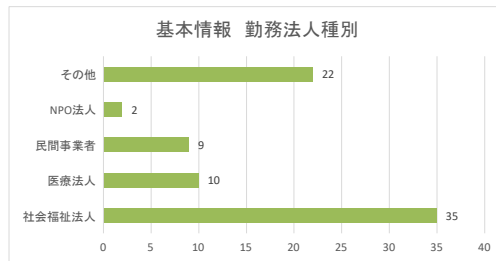
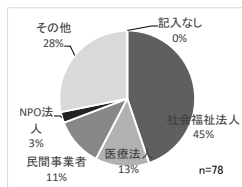
13)その他の内容

管理栄養士、社会福祉主事、福祉住環境コーディネーター、相談業務5年

複数の資格を有する方がいる。介護福祉士等介護系の資格を保持している方が多い。医療系の資格としては、看護師(准看護師)が多い。

(10) 勤めている法人の種類

1) 社会福祉法人	35
2) 医療法人	10
3) 民間事業者	9
4) NPO法人	2
5) その他	22
記入なし	0
合計	78



5) その他の内容

一般社団法人、合同会社、行政、地域包括支援センター

社会福祉法人(地域包括支援センター2名含む)が最も多く、次に医療法人となっている。その他の多くは、直営の地域包括支援センター所属である。

(11) ケアプラン作成数(担当人数)の月平均

	平均	最大	最小
作成数 (全体)	28件	53件	0件
要介護	27件	40件	0件
予防	9件	53件	0件

※内訳(要介護、予防)記入なしのものあり

(居宅)

	平均	最大	最小
作成数 (全体)	30件	43件	0件
要介護	29件	40件	8件
予防	0件	8件	0件

(包括)

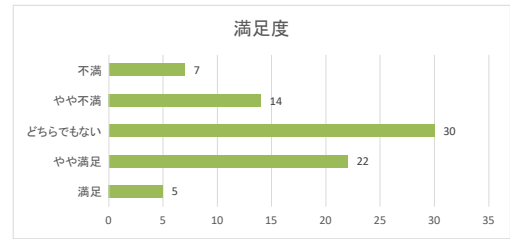
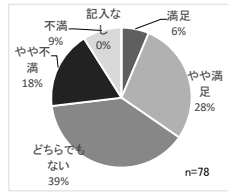
	平均	最大	最小
作成数 (全体)	22件	53件	3件
要介護	0件	1件	0件
予防	3件	0件	3件

平均すると28件。最も多い人で53件、少ない人は0件という方もいた。居宅介護支援事業所では要介護と予防両方を作成している方もいる。

満足度

(1) あなたは介護支援専門員として従事している中、現状の働き方に満足していますか。

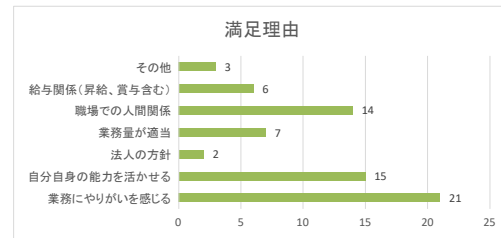
1) 満足	5
2) やや満足	22
3) どちらでもない	30
4) やや不満	14
5) 不満	7
記入なし	0
合計	78



「満足・やや満足」が34%、「やや不満・不満」は27%と大きな差はなく、「どちらでもない」が39%と最も多かった。

(2) (1)で1)満足、2)やや満足と答えた方にお聞きします。満足傾向にある部分について該当するものを全てお選びください。(複数可)

1) 業務にやりがいを感じる	21
2) 自分自身の能力を活かせる	15
3) 法人の方針	2
4) 業務量が適当	7
5) 職場での人間関係	14
6) 給与関係(昇給、賞与含む)	6
7) その他	3
合計	68



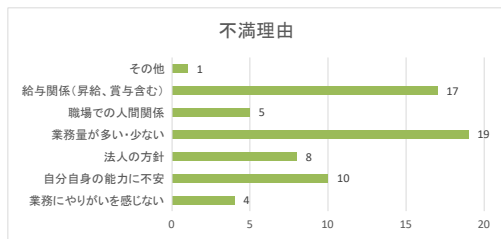
7)その他の内容

- ・自由に段取りができる、休みやすい環境
- ・令和に入り、法人の方針で業務も整理されてきた事でやや満足とした
- ・家庭の時間が確保できる、土・日休み、夜勤なし

「業務にやりがいを感じる」が最も多く、次いで「自分自身の能力を活かせる」と仕事にやりがいを感じている理由が多かったが、「職場での人間関係」が良好であることも満足傾向の理由として多かった。

(3) (1)で4)やや不満、5)不満と答えた方にお聞きします。原因となっている部分について該当するものを全てお選びください。(複数可)

1) 業務にやりがいを感じない	4
2) 自分自身の能力に不安	10
3) 法人の方針	8
4) 業務量が多い・少ない	19
5) 職場での人間関係	5
6) 給与関係(昇給、賞与含む)	17
7) その他	1
合計	64



7)その他の内容

- ・時間外(昼休憩、休日等)電話があると休んだ気にならない、非常識な家族が増えた

「業務量」「給与関係」に不満を感じている方が多かった。また、「自分自身の能力に不安」を感じている方もいる。

(4) あなたは介護支援専門員の業務のやりがいをどこなところに感じますか。該当するものを全てお選びください。(複数可)

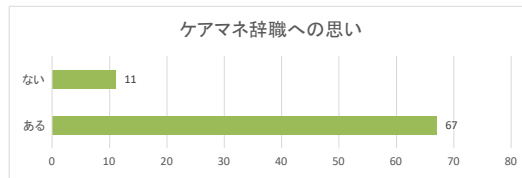
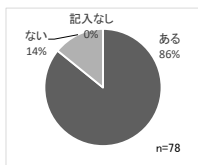
1) 利用者から感謝された時	56
2) 家族や主介護者から感謝された時	51
3) 計画していた支援内容により、生活上の課題が解決した時	46
4) 利用者の状態が改善した時	53
5) チームとして連携が上手くいっている時	43
6) やりがいを感じない	7
7) その他	0
合計	256



「利用者から感謝された時」「家族や主介護者から感謝された時」と相手から感謝される時に、やりがいを感じる方が多い。

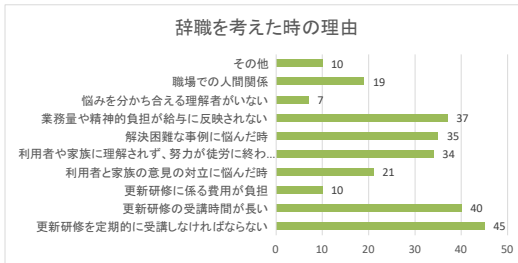
(5) あなたは介護支援専門員を辞めたいと思ったことはありますか。

1) ある	67
2) ない	11
記入なし	0
合計	78



(6) (5)で1)あると答えた方にお聞きします。どんな時に辞めたいと思いましたが、該当するものを全てお選びください。(複数可)

1) 更新研修を定期的に受講しなければならない	45
2) 更新研修の受講時間が長い	40
3) 更新研修に係る費用が負担	10
4) 利用者と家族の意見の対立に悩んだ時	21
5) 利用者や家族に理解されず、努力が徒労に終わった時	34
6) 解決困難な事例に悩んだ時	35
7) 業務量や精神的負担が給与に反映されない	37
8) 悩みを分かち合える理解者がいない	7
9) 職場での人間関係	19
10) その他	10
合計	258



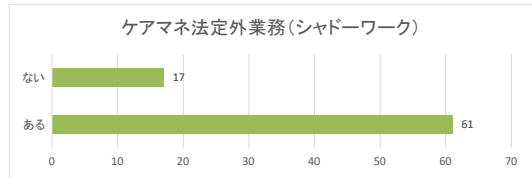
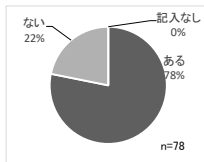
10) その他の内容

- ・事業所からの苦情が来た時(どうしようもないことをどうにかするように言われた時)
- ・介護している時より責任は増えたのに、給料は下がる、残業が増えた、知識、経験不足で分からないことが多く大変
- ・家庭に負担がかかった時
- ・周囲が忙しそうなので、色々教えてもらいたい事も聞きづらく、上司や先輩に申し訳なく思う。受け持ち人数も少ないので、法人や町の役にも立てていないように感じます。
- ・細々とした調整がしんどい、要求が多い(利用者や家族)
- ・年齢
- ・新人時の管理者(女性)に「居宅の恥」等バワハラや暴言を受けていた
- ・家族の個人的な問題
- ・給与が少ないことが一番！！
- ・CM以外の雑務が多い

辞めたいと思ったことがある方が多数を占めている。「更新研修を定期的に受講しなければならない」「更新研修の受講時間が長い」等、更新研修に負担を感じていることを理由としている方が多かった。

(5) あなたは通常のケアマネ業務以外(シャドーワーク)を行うことがありますか。

1) ある	61
2) ない	17
記入なし	0
合計	78



(6) (5)で1)あると答えた方にお聞きします。具体的にどういった内容のものがありますか。

【内容】

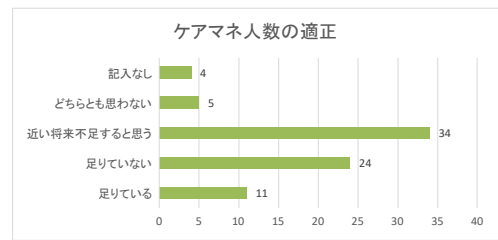
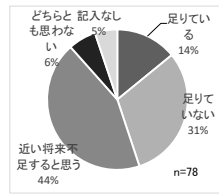
- ・行方不明になった場合の捜索、病院受診、入院の対応
- ・通院付き添い
- ・安否確認、タクシー調整、入院時の用意など
- ・入退院時本人に家族や支援者がおらず、荷造り等の支援
- ・家族が多忙、遠方を理由に色々頼まれることがある。先日は自宅の排水が詰まっているにも関わらずそのままの状態。修理の依頼や水浸しの所の掃除、出くわしたらそのままにして帰れません。
- ・自宅の掃除(サービスを受け入れない、経済的な負担があるため)
- ・受診同行、独居の方の安否確認、体調確認
- ・受診同行や認知症利用者さん宅への必要以上の訪問
- ・独居の方の頼まれごと、本人、介護者が障害があるため通院の介助(調整含む)など
- ・知識、経験がないため分からない
- ・ヘルパーでの支援につながらずショートステイの荷物送り、介護タクシーの調整
- ・病院の受診の手続き(介護タクシーの調整など)
- ・包括支援センターに勤務しているため、相談内容が幅広い、お金の問題、家族の問題等多くの相談業務あり
- ・独居で金銭的に負担がある方で、入退院時の準備や掃除など
- ・服薬確認、通院付添、水分や食事の提供、爪切り、排泄介助やパンツ交換、荷物(ショートステイ等)の準備
- ・家族の就業後に連絡が入ること
- ・入退院時の自宅の片付け、公共料金等の支払い、滞り再開手続きなど、業務外の事に非常に時間を要する、身寄りもなく、生活もいっぱいいっばいで社会資源の活用もできず、調整までに時間もなく、行政協力を待たずにケアマネが動かない場面がある
- ・介護保険部分以上での調整
- ・今年は特に四国セミナー(黒潮町開催)があったり、ケアマネ以外の仕事もある
- ・通院付添を一度した事がありますが、基本的にはシャドーワークはあまりしていません。訪問時に気がついた時、灯油を入れたりすることはあります。
- ・緊急通報装置の第一連絡先、緊急訪問、公共料金口座振替の手続き、高額医療介護の手続き、生命保険の支払いに関する相談、通院同行、入院手続き、入院の準備(生活用品の調達)、滞納の公共料金支払い代行
- ・ヘルパー援助が入らない時に、ヘルパーの援助を行っている。薬管理のため毎週訪問。買い物等
- ・ヘルパー不足のため、家事や身体介護を行った事あり
- ・通院時の情報共有や支援
- ・買い物、庭の掃除等
- ・家の掃除、家を留守にする際のペットの問題解決、病院受診の付添い、仲の悪い家族の仲裁、ヘルパーの手伝い
- ・ケアマネ業務以外の業務で行う仕事・認知症地域支援推進委員活動・包括で行う、ケア会や行事の手伝いなど
- ・利用者が入院になった場合の入院の準備、家族が疎遠となっている利用者さんの手続き
- ・救急車対応(入院手続き等も)
- ・利用者(独居)の体調不良時、救急車の同伴(公用車で後ろについて行く)。銀行口座使用確認書等を利用者と一緒に確認チェックし郵送する。薬局に受け取りに行けない独居利用者の代わりに、急遽薬を受け取りにくく等
- ・サービス利用の意向がない方の訪問、入院時の荷物の準備、自宅の設備関係の依頼(ガスが止まった、トイレのつまり等)
- ・事業所への休みの連絡、ゴミの片付け、契約前、利用するかどうか分からない段階からの訪問
- ・介護タクシーへの連絡、入院時の付添い
- ・受診同行、自宅修理(雨漏りなど)の調整、畑、お墓の草刈りの調整など
- ・休日の家庭問題の相談や訪問の対応
- ・介護保険サービスにつながらないケースや、介護保険サービスで対応できないケースへの対応が業務です
- ・以前からケアマネの仕事は、線引きがないと言われていたが、独居の人や何でもケアマネに頼めるとしている利用者が多い、例えば「バット等を購入してきて欲しい」「支払を頼みたい」等
- ・本来の業務以外の仕事を頼まれる。独居で身寄りのない方が入院になると、時間外にもかかわらず、病棟に上がるまで付き添って欲しい、説明を聞いて欲しいと言われる
- ・地区住民にも独居で身寄りのない高齢者で困ったケースはケアマネに何とかしてと言われる、ケアマネがついていけばケアマネに言えばいいという認識がある
- ・病院つきそい、入院支援
- ・環境整備、掃除、ゴミ収集等
- ・部屋の片付け、調理、ゴミ捨て、オムツ交換
- ・独居で認知症のある方の通所サービスの送り出し、服薬セット、服薬確認、ゴミ出し、受診同行など
- ・サービスには細かい制約が多く、独居で認知症で家族が遠方の場合など、いろいろな支援をすぐに担う人がいないことが多いため、とりあえずケアマネ、なんでもケアマネにと話ぐる、受診の調整や送り出し、救急車対応など
- ・家族の知人等、担当者以外の相談や家族や事業所の知識不足、理解力低下による対応に時間がかかることがある。未だに「ケアマネは何でもやってくれる」と思っている人がいる。
- ・利用者家族の対応「ケアマネは何でもしてくれる」と思っている利用者、家族、事業所が増えている
- ・薬の本人とセット確認、受診予約、介護タクシー予約など
- ・施設入所申請等様々な申請、お弁当の手配やタクシーの手配など、薬の確認、予約の確認等々
- ・医療機関内の居宅にて医療機関での会など参加が多すぎる。
- ・休日、利用者、家族からの相談業務
- ・入退院時の準備や付添い、督促状などの対応、家探し、食事の配達、生活保護受給者の事務手続き、郵送文書の確認作業、ペットの進路、家電などの仲介、夜間の捜索、時間外の電話相談
- ・病院の付添い、家族など身寄りがない利用者が入院した時の必要物品の構えなど。
- ・病院受診の同行、ご家族様の過度な要求
- ・緊急性のない要件で、夜間休日の電話対応

約8割の方がシャドーワークを経験。内容としては、緊急搬送時の対応や家事支援、病院の受診手続きや付添い等の内容が多かった。

意識

(1) あなたが勤務している市町村で活動する介護支援専門員の人数は足りていると思いますか。

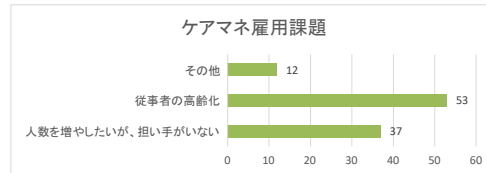
1) 足りている	11
2) 足りていない	24
3) 近い将来不足と思う	34
4) どちらも思わない	5
記入なし	4
合計	78



「足りていない」は31%で、「近い将来不足と思う」が44%と、75%の方が、介護支援専門員は足りない、若しくは足りなくなると考えている。

(2) あなたは介護支援専門員の雇用について問題と感じる部分はありませんか。該当するものを全てお選びください(複数可)

1) 人数を増やしたいが、担い手がいない	37
2) 従事者の高齢化	53
3) その他	12
合計	102



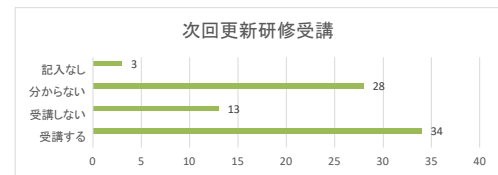
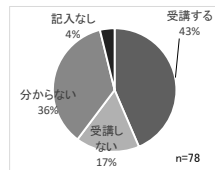
3) その他の内容

- ・頑張ってる資格を取って給料が下がり、資格更新等で費用もかかるのはおかしい
- ・処遇、介護職員より給与が低い
- ・居宅は赤字となるため
- ・人材も不足していると聞きますが、長年居宅自体が赤字だと聞いているので、経営していく事も難しいのではないかと思います。
- ・仕事量と賃金が見合っていない
- ・民間の居宅介護支援事業所のケアマネの給料が安い
- ・居宅のケアマネは大変という認識が介護職の中にあり、居宅よりは施設ケアマネを選ぶ人が多い
- ・業務量の多さ
- ・給付の問題
- ・年収
- ・力量不足。給与が少ない。
- ・業務量や給料

「従事者の高齢化」を懸念する人が多い。その他の理由としては、「給与が低い」「居宅より施設ケアマネを選ぶ人が多い」といった意見があった。

(3) あなたは次回の更新研修を受講しますか。

1) 受講する	34
2) 受講しない	13
3) 分からない	28
記入なし	3
合計	78



2)3)の理由内容

- ・準備から研修の拘束から考えると受講しなくていいならしたくない。費用は補助が出ますが、幅多からの研修参加は宿泊しないと身体的にきつい。高知まで行かなくても幅多管内で受講できるようにはならないのでしょ。利用者様に突発的に何かあった時にも対応ができます。
- ・長時間しんどい、年齢的にも、もういいかなと思う
- ・一人ケアマネで管理者もしているので、65歳以上になると管理業務、BCPや指針の作成などの業務が負担。運転も心配だし、体調も年々落ちてきている。
- ・年齢的に困難
- ・準備含め、長期間の受講に精神的負担が大きい、遠方から帰ってきた後の業務もたまっている。60歳を過ぎての更新になるため。
- ・年齢的なもの
- ・自分自身が高齢となってきた為
- ・更新研修の受講時間が長いので、年齢的にもきつくなっているので分からない
- ・60歳でケアマネ業務を辞めたいと思っているから
- ・現在66歳。次回の受講は70歳であり、体力的(高知市内まで行く)に無理であるため、また能力的にも自信がなくなっている
- ・体力、気力的にムリです
- ・高齢なので
- ・年齢的な理由
- ・その時点で、体力や気力があるのか不安。研修はかなり精神的に負担。
- ・高齢のため
- ・年収も上がらないのに、逆になぜ受講しないといけないのか?聞きたい。国家資格は更新しないのになぜ?!

約4割の方は「受講する」となっているが、「受講しない」を選んだ方の理由としては、「年齢的に困難」「体力的に無理」「研修が負担」といった意見があった。

6. 考察

- ・前回調査より6年経過しているが、経験年数5年未満の方が15名と一定新たな人材の参入が見られる。
- ・20、30歳代の若年層の減少、60、70歳代の増加と全体的な高齢化が見られ、現状では10年後には、さらに人材が不足することが見込まれる。
- ・満足傾向にある方は、仕事にやりがいを感じているのはもちろんだが、職場での人間関係が良好な場合が多いことから、管理者や指導者の職場環境への配慮が必要と考える。
- ・不満傾向にある方は、業務量や給与が不適正と感じているため、各事業所における適正な業務配分、給与支給が必要。
- ・介護支援員の継続が困難と考える理由としては、更新研修の負担、サービス利用者や関係者等から受けるストレス、それに見合っていない報酬等が原因であることが多い。
- ・法定外業務(シャドーワーク)における負担も大きく、これらを改善していくことが、介護支援専門員の継続に繋がると考える。